発行日　2016年1月20日
発行責任者　公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1
西新橋2丁目森ビル7階
TEL.03-6809-2034　FAX.03-3436-3666
http://www.son.or.jp

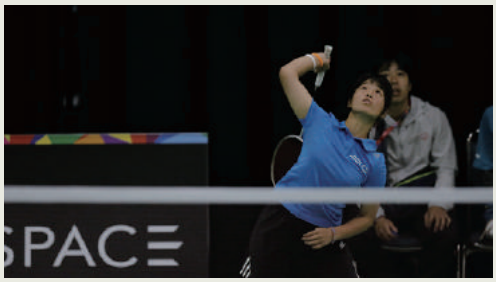
Special Olympics Nippon

Rainbow

vol. 29

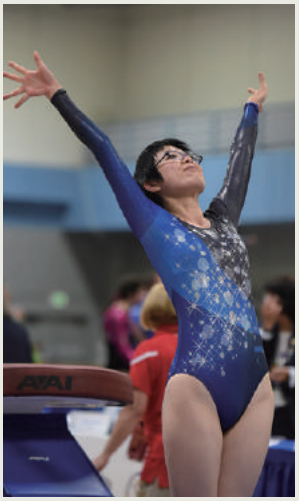
公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 NEWS

スペシャルオリンピックス（SO）とは　知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。



2015 スペシャルオリンピックス 夏季世界大会 ロサンゼルス

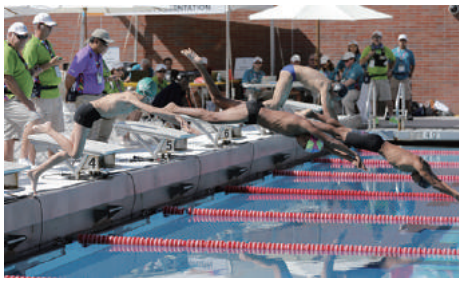
日本選手団参加報告　2015.7.25～8.2



Special Olympics WORLD GAMES LOS ANGELES 2015

2015年 スペシャルオリンピックス 夏季世界大会 ロサンゼルス

2015年7月25日～8月2日



大会概要

大会名称……2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス
（英語表記:Special Olympics World Summer Games Los Angeles 2015）
開催地……アメリカ合衆国　ロサンゼルス
開催期間……2015年7月25日 ～ 8月2日
大会名誉会長……バラク・オバマ氏　（アメリカ合衆国大統領）
ミシェル・オバマ氏（アメリカ合衆国ファーストレディ）
参加者……164ヶ国より543,500名
●アスリート:6,500名 ●コーチ・役員:2,000名
●競技役員/ボランティア:30,000名 ●ゲスト:5,000名 ●観客:500,000名
日本選手団 ……団長:大和田 誠（公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事）
●アスリート:77名 ●パートナー:6名 ●コーチ/役員:35名（総数:118名）

日本選手団競技結果

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	DQ
水泳競技	1	3	6	1	1		1		
陸上競技	1	1	2	6	3			1	1
バドミントン		3	3		2				
バスケットボール	1			1	1				
ボウリング				2				2	
サッカー				1					
ゴルフ		1							
体操競技	1	6	2						
卓球		1	1	1					
テニス	2	1	2	1					
バレーボール				1					
合計	6	16	16	14	7	0	1	3	1

※団体競技/種目はメダル1つとして集　※DQは失格　※競技結果 URL:http://www.la2015.org/results-filter

スペシャルオリンピックス日本 理事長

有森裕子

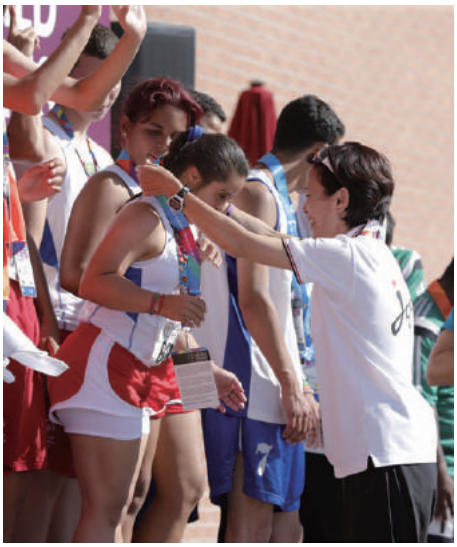
今大会はスペシャルオリンピックスの発祥の国、アメリカでの開催だったので、参加した選手団は日本国内ではなかなか経験できない特別なスペシャルオリンピックスの歴史や文化を肌で感じたのではないかと思います。

1968年にシカゴで第1回国際大会が開催されてから47年、2ヶ国の参加が今大会では164ヶ国までに広がり、観客含め55万人規模の大会にまで大きくなりました。

また、今大会では知的障害のあるアスリートと知的障害のないパートナーがチームを組み競技を行うユニファイドスポーツが公式種目として10競技以上で展開されました。

今後、日本でもユニファイドスポーツを積極的に取り入れ、そして、ユニファイドスポーツを通じてお互いを理解し、支え合う社会が広がっていくことを願い、引き続きスペシャルオリンピックスの活動普及に努めてまいります。

今回の世界大会日本選手団派遣にあたりご支援ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



スペシャルオリンピックス日本
日本選手団団長

大和田誠

（スペシャルオリンピックス日本 理事）

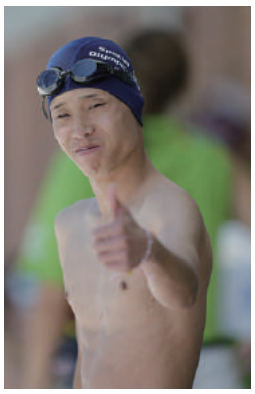
今回の日本選手団アスリートに期待したことは、「自立と自律」の姿勢を持って、積極的に健康管理を行うことで体調を整え、さらに願わくは体力を増強して世界大会という最高峰の競技に臨むということでした。そして「日頃の成果」イコール「自身の持つ潜在力のすべて」を発揮してほしかったのです。そのことが実現できたかどうかについて、もちろん競技の記録や勝敗も見ましたが、それ以上に重視して見たのは競技前、競技後のアスリートの表情や言葉でした。アスリート一人ひとりの表情や言葉からどのアスリートも力を出しきったことが強く感じられ、この世界大会を通して貴重な宝物を得たものと確信しています。アスリート全員に、また、潜在力を引き出してくれたコーチの方々に心から拍手を送ります。

水泳競技

会場: USC（Uytengsu Aquatics Center）
参加国数: 116　参加人数: 634名
日本選手団参加人数: アスリート 6名 /コーチ 4名

参加アスリート感想●相馬 康平（SON・青森）

僕の初めての世界大会はロサンゼルス大会だった。アメリカはスペシャルオリンピックス発祥の国なので、うれしさは倍増だった。自己ベストは出せなかったけれども、個人種目は 2個の銅メダル、リレーでは銀メダルを貰うことができたのでよかったと思う。ただ、世界の人たちは速かった。タイムも大きな差があった。もっともっと練習をして、次の世界大会に出られたら絶対に金メダルを獲って仲間や応援してくれている人達を喜ばせたいと思う。こんな貴重な経験ができたことに感謝して、これからもいろんなことにチャレンジしたいと思う。LA世界大会バンザイ! REACH UP!

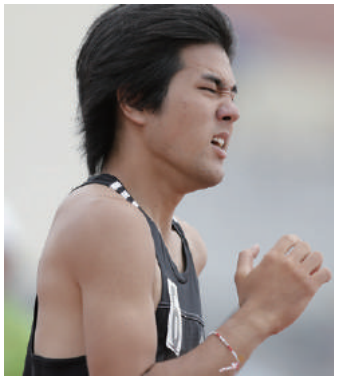
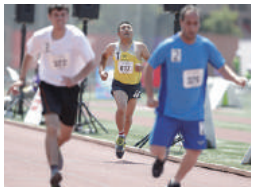


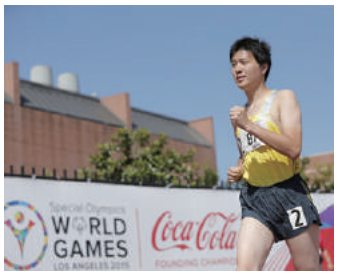
陸上競技

会場: USC (Loker Stadium)
参加国数: 157　参加人数: 972名
日本選手団参加人数: アスリート 7名 /コーチ 3名

参加アスリート感想●池永 久美子（SON・大阪）

スポーツ大会で海外遠征は初めての経験で、2週間と長い期間なので不安と心配でいっぱいでしたが、コーチには合宿と大会期間中のサポートや足のケアをしてもらって、本当に嬉しかったので、コーチをはじめ地元のプログラムでお世話になっている皆さんのためにもメダルを取りたいと強く思いました。5000mのレースは日差しがきつかったですが、自分のペースを守り、給水もうまく取る事ができ、腕にかけたり肩にかけたりしながら、ラスト 150m付近でスパートをかけ、納得の走りができました。表彰式で金メダルをかけてもらい、コーチと抱き合いました。このような結果で恩返しができてとても嬉しかったです。



バドミントン

会場: Los Angeles Convention Center (South Hall)
参加国数: 47　参加人数: 145名
日本選手団参加人数: アスリート 4名 /コーチ 2名

参加アスリート感想●南 高太郎（SON・滋賀）

世界大会に初めて出場できて良かったです。大会期間中は競技と応援で本当に毎日が疲れましたが海外選手団の友達が作れて良かったです。世界大会に出場して優勝はできませんでしたが無事に終えたことが一番です。アメリカのロサンゼルスは雨が降りませんでした。晴天の日が多いので、いいなぁと思いましたが、2週間もアメリカにいたので早く日本に帰国したい気持ちもありました。世界大会の出場はめったにできることではないので、出場できて良かったです。また日本でも世界大会をしてもらえたら嬉しいです。

バスケットボール男子

会場: USC（Galen Center）
参加国数: 54　参加人数: 624名
日本選手団参加人数: アスリート 10名 /コーチ 3名

参加アスリート感想●野村雄輝（SON・鹿児島）

僕にとって素晴らしい世界大会になりました。惜しくも4位でしたが仲間と世界の舞台でバスケットボールができ、最高の思い出になり、とても感謝しています。また機会があれば世界大会に行きたいです。2週間本当にありがとうございました。

バスケットボール女子

会場: USC (Galen Center)
参加国数: 54　参加人数: 624名
日本選手団参加人数: アスリート 10名 /コーチ 3名

参加アスリート感想●木村 綾（SON・東京）

世界大会は初めてだったので、不安でいっぱいでした。試合では、相手の選手はパワーがあり、くやしい思いと痛い思いもしました。特にエクアドルの選手は、体は小さいけれど戻りが速く、よくボールをカットされた。くやしかったけれど、自分もできるように努力したいと思います。チームは優勝して金メダルが取れて嬉しかったです。チームメイトと出かけたり、ふざけあったり、けんかもしたけど、本当に色々な意味で自分が成長できたと思います。コーチとチームメイトに「ありがとう!」と言いたいです。

バスケットボール ユニファイドチーム

会場: USC (Galen Center)
参加国数: 54　参加人数: 624名
日本選手団参加人数: アスリート 6名 / パートナー 4名 /コーチ 2名

参加アスリート感想●土井 隆平（SON・千葉）

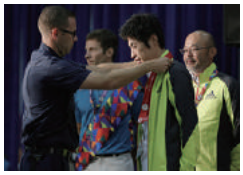
この世界大会にバスケットボールのユニファイドチームで出場しました。やっぱり海外の選手は大きかったし身体能力が高い選手もたくさんいました。試合では、最初の方、緊張しすぎて思うようなプレーができませんでしたが、パートナーの方に声をかけてもらったり、自分なりに落ち着いてリラックスしていくうちにだいぶ自分らしいプレーができるようになりました。チームは 5位でしたが最後は勝って気持ち良く終われたので良かったです。この世界大会は自分が参加した国際大会の中で一番楽しかったです。また4年後の世界大会も参加したいです。

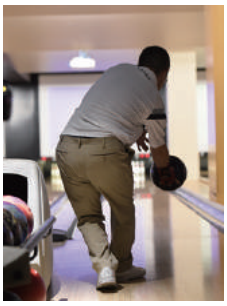
ボウリング

会場: LA Live（Lucky Strike）
参加国数: 50　参加人数: 222名
日本選手団参加人数: アスリート3名 / パートナー 1名 / コーチ 2名

参加アスリート感想●久保田 寛（SON・長野）

はじめて夏季世界大会に出場しました。ぼくは、ボウリングユニファイドチームのダブルスに出場しました。予選のスコアが良く、レベルの高い選手たちとの決勝になり、プレッシャーで8位になってしまい、くやしかったです。次の世界大会でリベンジしたいです。7月 31日は、ディズニーランドにいきました。4つのアトラクションに乗り、たのしかったです。閉会式では、日本選手団全員で入場行進ができてよかったです。とてもよい思い出になりました。





サッカー

会場: UCLA (Intramural Field)
参加国数: 32　参加人数: 272名
日本選手団参加人数: アスリート 8名 /コーチ 2名

参加アスリート感想●松岡 慎也（SON・福岡）

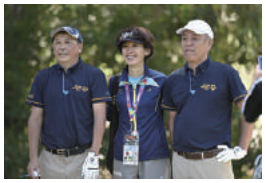
ロサンゼルスに僕は、はじめて行きました。僕は英語がにがてなので世界中のアスリートと仲良くなれるか不安でした。きゅうに握手をされたり、ハグされビックリしたけどそのおかげでみんなと仲良くなれ、新しい友達ができました。いい思い出ができました。コーチや大会を応援してくださったボランティアの皆さんありがとうございました。

ゴルフ

会場:Griffith Park (Wilson and Harding Municipal Golf Courses)
参加国数: 34　参加人数: 184名
日本選手団参加人数: アスリート 1名 /パートナー 1名 /コーチ 1名

参加アスリート感想●日吉 健文（SON・宮崎）

① 世界大会に参加して練習成果を出せて良かったです。
② 多くの友達ができたことが良かったです。
③ ヘッドコーチ中神さん、パートナーの堺さんに大変お世話になりました。
④ 現地の日本人の方々に大変お世話になりました。感謝しています。



体操競技

会場: UCLA (John Wooden Center)
参加国数: 34　参加人数: 139名
日本選手団参加人数: アスリート 4名 /コーチ 2名

参加アスリート感想●斎藤 七恵（SON・宮城）

世界大会ロサンゼルスに出場することになった時は最高に嬉しかったです。今まで以上に、体操を頑張らないといけないと思い、私は、床の練習を特に頑張りました。演技を覚えることがとてもむずかしく大変でした。そして、待ちに待ったロサンゼルスに行く日になりました。ロサンゼルスは暑かったです。競技では平均台と跳馬と床に出場し、堂々と演技ができました。結果は 3つのメダルをもらう事ができて、あまりの嬉しさに泣いてしまいました。また、なかなか話したりすることがない、いろんな国の人達との出会いは私にとって最高の思い出となりました。

卓球

会場: Los Angeles Convention Center (South Hall)
参加国数: 70　参加人数: 211名
日本選手団参加人数: アスリート 2名 /コーチ 2名

参加アスリート感想●小川 友輔（SON・大阪）

ぼくは、世界大会に行って試合で中国の選手とドイツの選手と試合をして、卓球が強い国の選手たちと試合ができてうれしかったです。世界大会は楽しかったけれども、シングルでメダルを目標にしていたので、目標が達成できなかったので少しくやしかったです。次の世界大会にも参加したいです。また、大会前のホストタウンで、カウボーイの人の家の展示物などを見学したりして、アメリカらしいところを見られたのでよかったです。

テニス

会場: UCLA (Los Angeles Tennis Center)
参加国数: 40　参加人数: 142名
日本選手団参加人数: アスリート 4名 /コーチ 2名

参加アスリート感想●住田 憲彦（SON・兵庫）

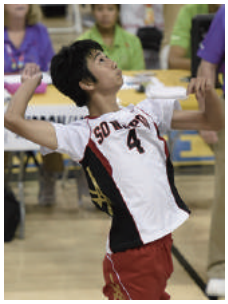
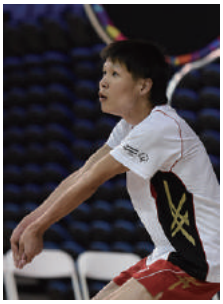
僕は世界大会に参加して一番うれしかったことは、金メダルを取ったことです。たのしかったことは、テニスチームで買い物に行ったことです。UCLAのショップでお土産を買いました。ホストタウンのウェストコビーナではダンスをしてアメリカの BBQが食べられて良かったです。僕は USAチームのトムとジョンに会いました。懐かしかったです。トムのファミリーのディナとリッチにも会いバッジの交換をしました。いろんな国のプレーヤーとテニスをして楽しかったです。また世界大会に参加したいです。

バレーボール

会場: UCLA (Pauley Pavilion)
参加国数: 23　参加人数: 336名
日本選手団参加人数: アスリート　12名 / コーチ 3名

参加アスリート感想●岡嶋 佐介（SON・京都）

僕は世界大会に初めて行きました。試合では 4 位になってしまいましたが僕は世界大会に参加でき光栄です。そして、スポーツは力が全てではなく、諦めない気持ち、チームワークと練習でやってきたことが試合の結果に表れるということを感じました。皆さん、ありがとうございました。

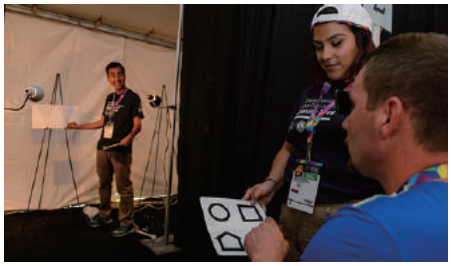
ホストタウンプログラム

ホストタウンプログラムは、各国から集まる選手団が時差と環境の変化に慣れることを目的として実施されています。日本選手団は、ロサンゼルス空港に到着後ウェストコビーナ市に移動し、7月21日～24日まで4日間滞在しました。到着日はウェストコビーナの市長にお出迎えいただき、地元の高校のチアダンスチームたちがチアダンスを披露してくださるなど、日本選手団を歓迎してくださいました。23日は歓迎イベントとサマーコンサートが開催され、日本選手団が入場すると観客の方々に拍手とハイタッチで日本選手団の大会への健闘にエールを送ってくださいました。

ヘルシー・アスリート®・プログラム（HAP）

ヘルシー・アスリート®・プログラムは、アスリートの健康を増進し、トレーニングや競技する能力を高め、競技会などで実力を最大限に発揮できるように健診を行います。その結果を、アスリート本人やコーチ、ファミリーに伝えて、健康に対する意識や知識の啓蒙を行い、生活の質の向上させることを目的に実施しています。

日本からを含む世界中の医療関係者有志の方々や学生など多くのボランティアの協力のもと、大会期間中の7月25日～ 8月1日に6部門（筋力・柔軟性改善、視力、聴力、口腔、足、栄養・生活習慣）の健康チェックが行われました。



ソーシャル インパクトサミット

世界大会期間中の7月23日から28日にかけてロサンゼルス市内にてソーシャルインパクトサミットが同時開催されました。ソーシャルインパクトサミットには、障害のある方とない方が共に生活する社会を目指すユース世代の代表者たちが世界30の国と地域から120名参加し、それぞれが住む地域社会を共生の場へと変化させていく為の企画プロジェクトを持ち寄り発表しました。日本からも岩﨑潤さんと室井慎太郎さんの 2名がペアを組み参加し、リーダーシップトレーニングやプロジェクトの運営方法について学びました。世界各国からの代表者たちは、地域特有の課題や解決への取り組みを共有し、地元に戻ってプロジェクトを実践していく決意を強め合いました。

日本選手団 世界大会までのスケジュール

2014年に福岡にて開催された「2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」の結果を基に、今大会の日本選手団選考を行いました。そして、2015年3月には日本選手団オリエンテーション、5月・6月には合同合宿を行い、これらのオリエンテーションと合宿を通じて技術、体力の向上に加え、アスリートたちは日本選手団としての自覚と責任について学びました。また、バスケットボール、サッカー、バレーボールの団体競技ではチームプレーの質を高めるため、競技別合宿を行いました。7月21日の日本出発当日には日本選手団結団式を行い、士気を高め、世界大会開催地アメリカへ向かいました。アメリカ到着後は、大会前のホストタウンプログラムにて体調を整え、7月25日から開幕する世界大会に臨みました。選手団は USCとUCLAの2つの選手村に分かれ宿泊し、それぞれ競技に参加しました。1週間の大会を経て8月2日には閉会式が行われ、翌日3日にアメリカを発ち、4日に日本へ帰国し解団式を行いました。

2014年	11/1～3	2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡
	12/13～14	2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス日本選手団選考委員会開催
2015年	2/28～3/1	第1回コーチミーティング
	3/21～22	オリエンテーション
	5/3～5	第1回合同合宿
	5/30～31	競技別合宿（バスケットボール女子）
	6/6～7	競技別合宿（サッカー、バレーボール）
	6/13～14	競技別合宿（バスケットボール男子 / ユニファイドスポーツ）
	6/20～21	第2回合同合宿
	7/4～5	第2回コーチミーティング
	7/21	結団式 / 日本出発
	7/21～24	ホストタウンプログラム
	7/25	開会式
	7/26～8/1	競技
	8/2	閉会式
	8/4	帰国 / 解団式

日本選手団競技スケジュール

	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
水泳競技								
陸上競技								
バドミントン								
バスケットボール								
ボウリング								
サッカー								
ゴルフ								
体操競技								
卓球								
テニス								
バレーボール								

大会広報

新聞掲載をはじめ、各局テレビ放送にて、大会前の結団式や大会期間中、そして大会終了後の様子などを取り上げていただき、広く活動を周知することができました。

＜テレビ放送＞

7月21日　NHK
TBS（Nスタ）
日本テレビ（NEWS ZERO）
7月27日　TBS
8月8日　フジテレビ（めざましどようび）
NHK（サタデースポーツ）

＜新聞掲載＞

140件　38社
（11/12時点）

＜Facebook＞

大会期間中の更新数: 23
リーチ: 150,092
いいね: 7,523
シェア: 269
（11/12時点）

スペシャル・メッセージ

下村博文前文部科学大臣
キャロライン・ケネディ駐日米国大使

今大会、前文部科学大臣の下村博文様とスペシャルオリンピックス創設者 故ユニス・ケネディ・シュライバー氏の姪にあたるキャロライン・ケネディ駐日米国大使が、日本選手団と一緒に開会式の入場行進にご参加くださいました。

また、下村博文様には、7月21日に東京で行われた日本選手団結団式にご出席いただき、大会期間中の 7月26日には水泳競技会場にて日本選手団アスリートのレースを応援してくださいました。

そして、キャロライン・ケネディ駐日米国大使は、2014年11月に福岡で行われた今大会の日本選手団選考会となる「2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」の開会式や陸上競技会場にお越しくださり、2014年の選考会に引き続き、ロサンゼルスで日本選手団アスリートと再会し、今大会の日本選手団の健闘にエールを送っていただきました。

在ロサンゼルス
日本国総領事公邸

大会期間中の 7月 29日、日本選手団は在ロサンゼルス日本国総領事公邸にお招きいただき、総領事はじめ多くの方々より激励を受けました。大会日程の半分を終え、厳しい環境の中、全力で競技に臨む日本選手団にとって、気分をリフレッシュする貴重な時間を過ごすことができました。久しぶりに口にする日本食に元気をもらい、翌日からの競技に取り組む鋭気を養いました。また、在ロサンゼルス日本国総領事館のサポートにより大会期間中、日本選手団をはじめ、ファミリーや応援団などロサンゼルスに滞在した方々が安全に行動することができました。

ミス ユニバース 2007
スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター
森　理世さん

2015年 7月に開催されたスペシャルオリンピックス夏季世界大会に現地ロサンゼルスへ応援に行かせていただき、ギリシャ、韓国に続く3度目の世界大会応援になりました。ドリームサポーターをさせていただいてから、早くも8年ほどの年月が経ったということになり、多くの経験と感動を与えてくださっているスペシャルオリンピックスのおかげで、私自身も少しは人間的に成長させていただけているのではないかな?と感じております。

今回はスペシャルオリンピックス発祥の国であるアメリカでの開催ということもあり、会場は今まで以上の盛り上がりで熱気とサポーターの渦!そんな中、開会式で日本選手団の皆様と入場行進をさせていただいたことは、私にとって感動以外のなにものでもありませんでした! あの神聖な場所をアスリートと共に歩み、行進させていただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。毎回思いますが、世界各国の観衆が見守る中で堂々と歩かれる日本選手団の皆さんに、改めて尊敬の念と日本人として誇りを感じました。そして、今回の世界大会でも NIPPONアスリートたちは大活躍!スポーツで結果を残すだけでなく、日本選手団としてのふるまいや集団行動のレベルの高さを世界の舞台で高い評価を受けておりました。これも日頃からアスリートをサポートされているご家族、ボランティア、スタッフの皆様と愛情をもって指導をされているコーチの皆様の努力の賜物だと感じました。

人間の一生懸命な姿は美しいです。今回も世界中の多くの美しい姿を見ることができました。私もドリームサポーターとして、応援するだけではなく私自身が何かを挑戦し続けて周りを引っ張っていけるようにならなくてはいけないな、と感じました。これからも世界中でスペシャルオリンピックスは大きな輪を広げていきます!日本でも一緒に応援の輪を広げてくださったら嬉しいです。これからもスペシャルオリンピックスの素晴らしさを伝えていきます!ありがとうございました。

応援企業からのメッセージ

株式会社ファーストリテイリング（ユニクロ）
CSR部ソーシャルイノベーションチーム

藤原 希望 様

ユニクロは日本選手団の式典用ユニフォームの提供に加え、今回の世界大会への大会資金協力と大会期間中に開催されるイベント「ユニファイドスポーツ®・エクスペリエンス」のオフィシャルアパレルスポンサーとして、選手および運営ボランティアなどが着用するTシャツとポロシャツ計7,000着を提供しました。選手たちの活躍の舞台に、服を通じてサポートができたことを、とても光栄に感じております。

世界大会で特に印象に残ったことは、ある選手の言葉です。「できない、できないと言われ続けて自信がなかった僕を、Special Olympicsが変えた。スポーツを通して、僕にもできることがあると思えた」という言葉で、この取り組みの素晴らしさを再確認しました。

日本航空株式会社
宣伝部 部長

日時本 一之 様

ロサンゼルス大会参加のために弊社航空便をご利用いただきました選手団の皆様、誠にありがとうございました。

今回、世界大会の観戦に初めて参加いたしました。普段のロサンゼルスとは違って、着いた時からロサンゼルスのイメージは一変しておりました。スペシャルオリンピックス一色になっていました。空港の到着ロビーにもホテル周辺にも色とりどりのお揃いのユニフォームを着た選手やそのご家族で溢れかえっており、これからどのようなお祭りが始まるのかとワクワク感が募っていきました。そのワクワク感は開会式でピークに達しました。ロサンゼルスのオリンピックスタジアムで行われた開会式は、私にとってまさにテレビで見たことがあるオリンピックの開会式と同様に映り、日本選手団の入場の際はどれほど誇らしく思ったことでしょう。その会場にいたすべての方が興奮していたと思います。著名な歌手の演奏や趣向を凝らした演出でとても素晴らしい開会式でした。そして、その入場行進に日本代表として参加された選手の皆様は人生を変える大きな経験をされたのではないかと思います。

翌日は UCLAやコンベンションセンターにて、いくつかの白熱した試合を観戦することができました。開会式とは打って変わって真剣に試合に取り組むみなさんを拝見して胸が熱くなりました。弊社もより一層みなさまのお手伝いをさせていただきたいという決意を新たに帰国いたしました。

みなさまの益々のご活躍を期待しております。

株式会社 AOI Pro.
経営企画 本部長

額田 康利 様

AOI Pro.グループは、2013年より映像制作を通じてスペシャルオリンピックス日本を支援させていただいております。今回、Hornered-Guestとして、弊社代表取締役社長 グループCEOの中江康人と共に参加させていただきました。到着したロサンゼルス空港は「スペシャルオリンピックス夏季世界大会」のカラー一色で包まれており、都市全体でこの大会を盛り上げているのだと感じたのと同時に、そのスケールの大きさに感動しました。私たちは、トライアスロン、卓球、ボウリング等のチーム JAPANの競技を観戦しました。競技を楽しむと同時に、ひたむきに相手と自分に向き合いながら真剣勝負に挑むアスリート達の姿を見て、たくさんの勇気と感動をもらいました。この世界大会で感じたスペシャルオリンピックスがもたらす一人ひとりの可能性の拡大とチャレンジスピリットの醸成に向け、弊社グループはこれからも可能な限り支援をさせていただきたいと思います。

トヨタ自動車株式会社
社会貢献推進部 総括室 総括1グループ

鈴木 なを子 様

現地のトヨタがロサンゼルス大会のオフィシャルパートナーになったことをきっかけに応援に行きました。アメリカがスペシャルオリンピックスの発祥の地だけあって、盛り上がりと華やかさに圧倒されました。1984年にオリンピックが開催された会場での開会式は、ロザンゼルスにしては暑いぐらいの日差しの中で行われ、日本選手団が行進してくるのをワクワクしながら待ちました。

次の日は、現地のトヨタの従業員ボランティアやトヨタ関係のアスリートとご家族たちにお会いしたり、また日本からの応援団ツアーの方々とも合流して試合を見学させていただき、日本のアスリートの皆さんたちと触れ合うこともできました。今回の経験をもとに、これからもいろいろな場面で関わっていきたいと思います。

故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバーの信念を受け継いで

スペシャルオリンピックス創設者
ユニス・ケネディ・シュライバー

1962年
スペシャルオリンピックスの始まり

ユニス・ケネディ・シュライバーが自宅の庭を開放して、知的障害のある人たちを集めデイキャンプを行ったのがスペシャルオリンピックスの始まり。

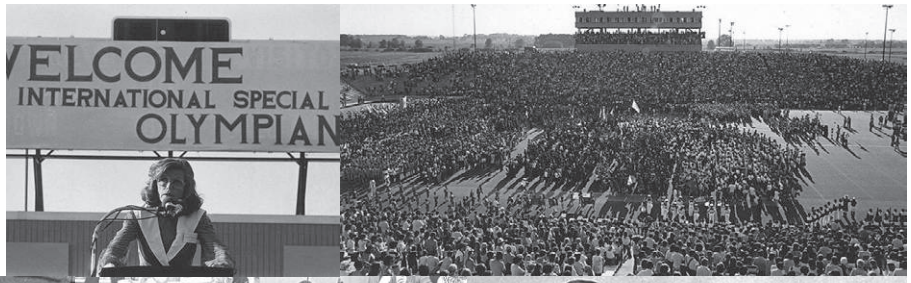
スペシャルオリンピックス　競技会精神

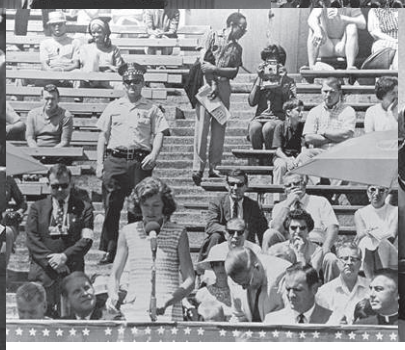
スペシャルオリンピックスで大切なものは、
最も強い体や目を見張らせるような記録ではない。
それは各個人のあらゆるハンディに負けない精神である。
この精神なくしては勝利のメダルは意味を失う。
しかしその気持ちがあれば決して敗北はない。

創設者 ユニス・ケネディ・シュライバー
（スペシャルオリンピックス日本　訳）

1968年
スペシャルオリンピックス夏季大会　初開催

第１回スペシャルオリンピック夏季大会はイリノイ州シカゴのソルジャー競技場で開催され、アメリカ国内26州とカナダから 1,000人のアスリートが参加しました。





スペシャルオリンピックス　アスリート宣誓

Let me win. But if I cannot win, let me be brave in the attempt.

わたくしたちは精一杯 力をだして勝利を目指します。
たとえ、勝てなくても、頑張る勇気をあたえてください。

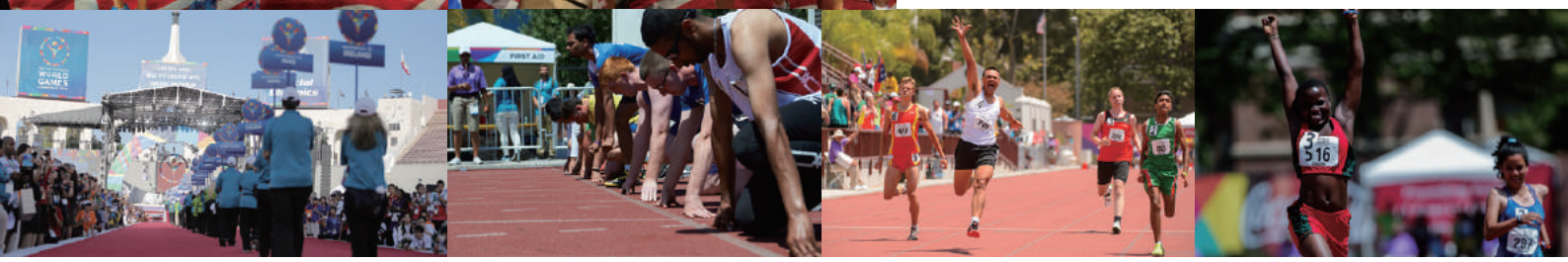
（スペシャルオリンピックス日本アスリート　訳）

発祥の地アメリカにて夏季世界大会開催

スペシャルオリンピックス国際本部 会長
ティモシー・シュライバー

2015年
スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス

第1回大会から47年、スペシャルオリンピックスの活動は世界中に広がり、164の国と地域から6,500名以上のアスリートが参加するまでになりました。



アメリカ全土でトーチランを実施

ギリシャ共和国アテネで採火された聖火は、アメリカ 50州をトーチランが巡り、カリフォルニアではディズニーランドにて行われ、開会式にてロサンゼルスオリンピックで使用された Los Angeles Memorial Coliseumの聖火台に火が灯りました。

オバマ大統領が大会名誉会長に就任

アメリカ合衆国大統領バラク・オバマ氏とファーストレディ ミシェル・オバマ氏が大会名誉会長に就任し、アスリートをホワイトハウスへ招待し、大会開会式にはミシェル・オバマ氏が出席されました。

世界中のセレブリティたちが応援

世界的歌手のアヴリル・ラヴィーン氏が大会応援ソング「Fly」を制作し、開会式にて歌ってくださり、また、各スポーツ競技のレジェンドプレーヤーらが大会を応援し、ユニファイドスポーツにて、アスリートと一緒に競技に参加してくださいました。

Special Olympics Unified Sports®

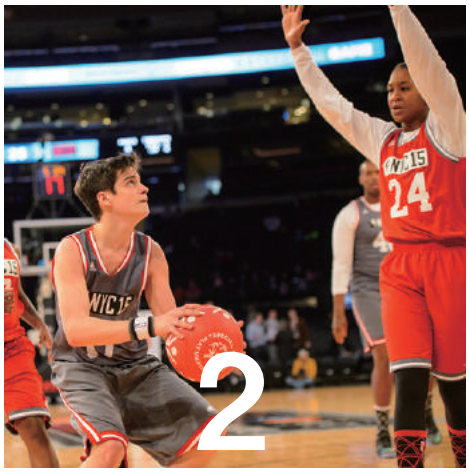
ユニファイドスポーツとは

知的障害のある人（アスリート）と知的障害のない人（パートナー）がスポーツを通じて、
お互いに相手の個性を理解し合う関係を構築していく取り組みです。
ユニファンドスポーツは、テレビ放送等で特集されるなど様々なところで注目されている取り組みです。

ユニファイドスポーツには下記3つのスタイルがあります。

ユニファイドスポーツ

同程度の年齢・競技能力のアスリートとパートナーがチームを組み競技を競います。（世界大会競技種目）



ユニファイドスポーツ・プレーヤーデベロップメント

高い競技能力を持つプレーヤーが競技能力の低いチームメイトの技術や戦略を上達させることをサポートしながら競技を行います。

ユニファイドスポーツ・レクリエーション

アスリート、パートナーの年齢・競技技術の制限はなく、スポーツを楽しみながら、お互いの理解向上を目的に行います。

ユニファイドスポーツの意義

Jon-Paul St. Germain
Special Olympics, Inc.
Senior Director, Sports Development & Operations

スペシャルオリンピックスの大会を通してユニファイドチームがプレーすることで認知度を高め、知的障害者に対する世の中の人々の理解に変化をもたらすことを期待しています。

また、同じユニフォームを着た知的障害のある人と知的障害のない人がスポーツを通して培う友情がスポーツ以外の場でも継続することにはとても価値があります。

知的障害者に対する見方が変化していくこと、また知的障害者が一般社会において様々な機会を与えられること、ユニファイドスポーツとは社会参加や雇用機会といった様々なことに貢献するものだと思います。

12競技にて世界大会競技種目として実施

今大会では、サッカー、バスケットボール、バレーボールなど12競技にてユニファイドスポーツが正式種目として行われました。日本からは、ゴルフ、ボウリング、バスケットボールにユニファイドスポーツチームを派遣しました。

著名な方々もユニファイドスポーツに参加

世界各国で活動の認知と参加呼掛けを目的にユニファイドスポーツのイベントが行われており、今大会でも様々な著名な方々がユニファイドスポーツに参加しました。

＜主な参加著名人＞

有森 裕子（スペシャルオリンピックス日本理事長）

中田 英寿 氏

（スペシャルオリンピックス国際本部アンバサダー）

森 理世 氏

（スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター）

キム・ヨナ 氏

ミシェル・ウィング・クワン 氏

マイケル・フレッド・フェルプス 氏

アポロ・アントン・オーノ 氏

ディッケンベ・ムトンボ 氏

スペシャルオリンピックス日本ユニファイドスポーツ公式記録映像

2015年 スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルスにてチーム競技として初めて日本からバスケットボール・ユニファイドチームを派遣しました。ユニファイドチームはアスリート 6名、パートナー 4名、コーチ 2名で結成され、練習や合宿を通じてお互いの技能や特性を理解し合い世界大会に臨みました。（株）AOI Pro.様のご支援で、今回制作した記録映像は、バスケットボール・ユニファイドチームのアスリート、パートナー、コーチの 3名を中心に合宿から大会終了までを追い、ユニファイドスポーツならではの絆が収録されています。それぞれの立場からの目線でご覧いただける記録映像となっています。ぜひご覧ください!

Youtubeに映像を公開!

URL又は QRコードからご覧ください!

https://www.youtube.com/watch?v=w_FNcxfvARE&feature=youtu.be

AOI Pro.

結団式

高円宮妃殿下

世界大会開催地ロサンゼルスに出発する当日、7月 21日（火）にパソナグループ様のスターライズタワーにて日本選手団結団式を開催いたしました。日本選手団 118名が一堂に会し、大和田誠団長、代表アスリート・パートナー・コーチが力強く決意表明し、ロサンゼルスでの健闘を誓いました。

日本選手団結団式には、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、前文部科学大臣の下村博文様、日本コカ・コーラ株式会社代表取締役社長のティム・ブレッド様、株式会社ファーストリテイリング常勤監査役の田中明様やスペシャルオリンピックス日本ドリームサポーターの北澤豪様、森理世様、安藤美姫様にご出席いただきお言葉を頂戴いたしました。

また、司会を務めていただいたフリーアナウンサーの堀尾正明様、山田玲奈様が、世界大会に臨む日本選手団全員の名前を読み上げてくださり、ご出席の皆様から大きな拍手が送られ、日本選手団一人ひとりハイタッチで送り出していただきました。

開催概要

名称	2015年スペシャルオリンピックス 夏季世界大会・ロサンゼルス 日本選手団結団式
開催日程	2015年7月21日（火）11:00 ～ 12:30
会場	スターライズタワー（5F STUDIO EARTH）
来賓	高円宮妃殿下 下村博文様（前文部科学大臣） ティム・ブレッド様（日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長） 田中明様（株式会社ファーストリテイリング 常勤監査役）
ゲスト	北澤 豪様（SONドリームサポーター/元サッカー日本代表） 森 理世様（SONドリームサポーター/2007年ミス ユニバース） 安藤美姫様（SON新潟大会サポーター/ プロフィギュアスケーター）
司会	堀尾正明様（フリーアナウンサー） 山田玲奈様（フリーアナウンサー）
登壇者	有森裕子（スペシャルオリンピックス日本 理事長） 三井嬉子（スペシャルオリンピックス日本 会長） 大和田誠（日本選手団団長） 日本選手団 118名
主催	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
協力	パソナグループ

田臥勇太さん日本選手団激励

2015年 6月 21日（土）、バスケットボール男子・ユニファイドチームの競技別合宿に、バスケットボール男子日本代表に 4年ぶりに復帰された田臥勇太選手が激励に駆け付けてくださいました。アスリートたちは、憧れの田臥選手の登場に驚き緊張していましたが、シュート練習の際に田臥選手がアスリート一人ひとりにパスを出すと、活き活きとした表情でシュートを決めていました。練習後には、アスリートからの質問にも貴重なアドバイスを頂戴し、最後に「僕も日本代表として頑張りますので、アスリートの皆さんも世界大会で悔いの残らないよう全力を出し切ってきてください」と、共に世界大会に臨む代表選手として健闘を誓い合ってくださいました。

2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス

Special Thanks

株式会社ユニクロ

開閉会式等で日本選手団が着用した式典用ユニフォームをご提供いただきました。

アディダス ジャパン株式会社

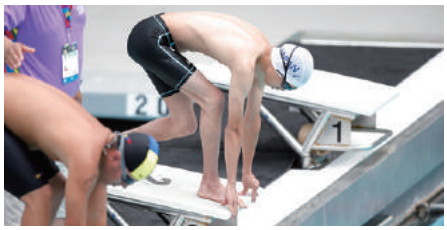
日本選手団共通ユニフォームに加え、サッカー、バスケットボールなどの 8競技の競技ユニフォームをご提供いただきました。

ソフトバンクグループ株式会社

大会期間中の日本選手団スタッフの連絡手段として iPhone、iPad、PHSなどのモバイル端末をご提供いただきました。

日本航空株式会社

日本選手団の渡航支援、並びにサポート、そして搭乗ゲートでのレセプションや機内アナウンスでの激励を行っていただきました。



アシックスジャパン株式会社

日本選手団水泳競技、バレーボールの2競技の競技ユニフォームをご提供いただきました。

ヨネックスジャパン株式会社

日本選手団バドミントンチームが合宿や大会期間中に使用するバドミントンシャトルをご支援いただきました。

株式会社フォート・キシモト

日本選手団の公式カメラマンとして合宿から世界大会期間中の記録撮影にご協力いただきました。

日本選手団ドクター

寺倉宏嗣先生

日本選手団が万全の体調で競技に臨めるよう、合宿や大会期間中の健康チェックやアドバイスをいただきました。慣れない環境での競技生活のため、体調管理が難しかったですが迅速にケアしてくださり、アスリートたちは安心して競技に取り組むことができました。

公式審判

田中理恵子さん（卓球）
濱名智男さん（柔道）
山﨑正義さん（柔道）

今回の世界大会に日本から田中理恵子さんが卓球の公式審判として、濱名智男さんと山崎正義さんが柔道の公式審判として参加いただき、各競技の進行を円滑に進めていただきました。

ヘルシー・アスリート®・プログラム・クリニカルディレクター
スペシャルオリンピックス日本
ヘルシー・アスリート®・プログラム委員会 委員長

髙橋久雄先生

ヘルシー・アスリート®・プログラムにはスペシャルオリンピックス国際本部承認クリニカルディレクターの髙橋久雄先生がボランティアとしてスペシャルスマイルズ（口腔部門）にて世界のアスリートの健康チェックを行ってくださいました。

2015年スペシャルオリンピックス日本 主な主催イベント報告

スペシャルオリンピックス日本 チャリティトークショー

6月 19日（金）に明治安田生命保険相互会社様の「丸の内 MY PLAZA ホール」にて、スペシャルオリンピックス日本チャリティトークショーを行い214名の方にご参加いただきました。フリーアナウンサー山田玲奈さんの司会のもと、有森裕子理事長とスペシャルオリンピックス日本ドリームサポーターの北澤豪さん、森理世さんが、SOの魅力とともに、大舞台に立つときどのような心境だったのか、また心構えについてもお話しいただきました。

日時: 2015年 6月 19日（金） 19: 00～ 20: 30
会場: 明治安田生命保険相互会社「丸の内 MY PLAZAホール 4階」
登壇者: 有森裕子（スペシャルオリンピックス日本理事長）
北澤豪様（元サッカー日本代表）
森理世様（2007年ミス ユニバース世界大会優勝）
司会: 山田玲奈様（フリーアナウンサー）
共催: スペシャルオリンピックス日本サポーター 丸の内女子会
後援: 明治安田生命保険相互会社
使途: 「スペシャルオリンピックス 2015ロサンゼルス」世界大会日本選手団派遣費

第5回エールラン in 横浜赤レンガパーク supported by Visa, AIG

9月 12日（土）に開催した「第 5回エールラン in 横浜赤レンガパーク supported by Visa, AIG」は、ランナー 1,283名の方のご参加と、ボランティア197名のご協力をいただきました。今回のエールランは「横浜赤レンガパーク」にて開催。当日は天候にも恵まれ、青空の下、親子ランと20km駅伝に加えて、初めてフルマラソン駅伝も行い、ランナーの皆様に楽しんでいただくことができました。

日時: 2015年 9月 12日（土） 10:00～ 16:00
会場: 横浜赤レンガパーク～カップヌードルミュージアムパーク
参加者: 有森裕子（スペシャルオリンピックス日本理事長）
ゲスト: Morning☆ Diamonds（丸の内朝大学 社会人チアリーダー）
司会: おおご菜夕様
共催: エールラン実行委員会
特別協賛: ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社、AIGジャパン・ホールディングス株式会社
使途: 「スペシャルオリンピックス 2016新潟」全国大会開催費

2015年第2回スペシャルオリンピックス日本 全国バスケットボール大会

9月18日（金）から 20日（日）に「2015年第2回スペシャルオリンピックス日本全国バスケットボール大会」を広島市で開催しました。今回で 2回目の開催となる本大会は、前回を上回る全国22の地区組織から322名のアスリート・パートナー・コーチが参加しました。今回、全国大会としては初めて、障害のある人とない人が一つのチームで参加するユニファイドスポーツの種目も実施され、スペシャルオリンピックスが目指す、障害の有無を超えたインクルージョン社会の実現に向け、新たな一歩を踏み出す大会となりました。競技では、一人ひとりが日常のプログラムの成果を存分に発揮してボールを追い、白熱した試合が繰り広げられました。

日時: 2015年 9月 18日（金） ～ 20日（日）
会場: 広島サンプラザ（広島市）
参加人数: 個人技能競技 42名
チーム競技: シニア男子チーム 21チーム /233名 ユニファイドスポーツ 4チーム /47名
主管: NPO法人スペシャルオリンピックス日本・広島

2015年スペシャルオリンピックス日本 ナショナルミーティング/公開シンポジウム

ナショナルミーティングは2年に1度開催しており、今回は11月7日（土）から8日（日）に開催いたしました。今回のナショナルミーティングでは、全国地区組織の関係者が一堂に会し、日本でのスペシャルオリンピックス活動の充実と、今後、スポーツ以外の社会・文化的にも意義あるプログラム活動が展開できるよう意見交換を行いました。また、ナショナルミーティングの開始前には「スペシャルオリンピックス日本 20年の検証と知的障害者スポーツのこれから」というテーマで公開シンポジウムを開催し、20年間のスペシャルオリンピックス日本の活動の効果や課題の発表と障害者スポーツの有識者をお招きし、知的障害者スポーツの現状と将来像を発表いただきました。

<ナショナルミーティング>
日時: 2015年 11月 7日（土） ～ 8日（日）
参加人数: 全国から 250名

<公開シンポジウム>
日時: 2015年 11月 7日（土） 9: 50～ 12: 10
基調講演: 田中聡明様（スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室長）
パネリスト: 中森邦男様（（公財）日本障がい者スポーツ協会強化部長 / 日本パラリンピック委員会事務局長（兼任））
野村一路様（日本体育大学体育学部教授）
岩沼聡一朗（SON調査研究委員会 /帝京科学大学）
田引俊和 （SON調査研究委員会 /北陸学院大学）
モデレーター: 志村健一 （SON調査研究委員会委員長 /東洋大学）

コーチアカデミー

スペシャルオリンピックス日本ではコーチの指導力向上を目的として、3月と 12月にコーチアカデミーを実施しました。スペシャルオリンピックス国際本部が普及に力を入れているオープンウォータースイミングと、SO独自の競技として国内でも人気の高いフロアホッケーの 2競技で実施。講師からは競技技術の指導方法にとどまらず、指導者の心構えについてもお話しいただきました。

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 寄付・協賛企業団体一覧

■ナショナルパートナー

(株)ユニクロ、トヨタ自動車(株)、ソフトバンクグループ(株)、ソニー生命保険(株)、アディダス ジャパン(株)、富士ゼロックス(株)

■ウエブサイトパートナー

サイエントグループ

■プレミアスポンサー

日本KFCホールディングス(株)、日本コカ・コーラ(株)、日本航空(株)、三井住友海上火災保険(株)

■マーケティングパートナー

(株)アライヴン

■プロモーションパートナー

(株)AOI Pro.

■フレンドシップスポンサー

(一社)日本フードサービス協会、(株)NTTドコモ、東京海上日動火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行(株)、
明治安田生命保険相互会社、(株)スリーボンドホールディングス、(株)三井住友銀行、三井不動産(株)、三井物産(株)、
日本生命保険相互会社、リシュモンジャパン(株)、SCSK(株)、ドイツ銀行グループ、(株)セイブシステムリンク、ニホンモニター(株)、
ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、信越化学工業(株)、(株)大林組、加賀電子(株)

■マーケティング支援企業

(株)オニザキコーポレーション

■助成金

スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野記念資金、(一財)日本メイスン財団、全国生活協同組合連合会、全国労働者共済生活協同組合連合会、スペシャルオリンピックス国際本部、
(独)日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成、(公財)森村豊明会、(公財)ヤマト福祉財団、マテルこども財団

■寄付・協賛

東京マラソンチャリティ"つなぐ"、大阪マラソン組織委員会、ピーアークホールディングス(株)、AIGジャパン・ホールディングス(株)、(株)三菱東京UFJ銀行社会貢献基金、海外酒販(株)、在日米国商工会議所、
イーピーエスディーリングリソーシスジャパン(株)、メリルリンチ日本証券(株)、ソフトバンクモバイル(株) かざして募金、セコムチャリティオークション事務局、東京海上フィルハーモニックオーケストラ部、
東京海上日動Share Happiness倶楽部、(株)CHINTAI、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本財託、(株)ブラボーグループ、(株)マッシー、エーザイユニオン、ブラザーズ(株)、日本オラクル(株)、(株)ローソン、
富士ゼロックスアドバンストテクノロジー(株)、虎ノ門積善会、(公社)日本ボウリング場協会、AGCセラミックス(株)、パイロットインターナショナル日本ディストリクト、共同カイテック(株)、UAゼンセン、(株)ソニックジャパン、
(株)S.D.B.B.、JR東労組、グロッセ・ジャパン(株)、明治神宮崇敬会、(一社)学習院桜友会、(一財)三井報恩会、(特活)チャリティ・プラットフォーム、(一財)ジャパンギビング、I.R.M.アカデミー、森育子ダンススタジオ、
ディー・エイチ・エル・ジャパン(株)、ディー・エイチ・エル・ジャパン(株)端数倶楽部、大同生命社会貢献の会、ソフトバンクモバイル(株)、千葉県騎手会、Triathlon Boys&Girls、(株)トーエル、
アメリカン・エキスプレス・インターナショナル,Inc.日本支社、チャリティ白衣ファッションショープロジェクト事務局、(株)PROFESSOR'S ROUND、杉野服飾大学、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、
軽井沢チャリティー・コンサート実行委員会、国際ソロプチミスト敦賀、ロバート・ウォルターズ・ジャパン(株)、富士ゼロックス端数倶楽部、(株)ソーシャル・スパイス・カンパニー、映画「天心の譜」天草上映実行委員会、UBS証券(株)、
伊那食品工業(株)、(株)トシ・コーポレーション、インフィリック(株)、(株)グッドヒル、(株)ビジネスパートナーズ、東京都立大田桜台高校生徒会、東京ワシントン婦人会、(有)難波アソシエイツ、八王子東京パイロットクラブ、
(株)スマイルズ、(株)ロジネットジャパン西日本、(株)かるみあ、(株)アップフロントワークス、(株)イデアインターナショナル、トヨタ輸送(株)、(株)あおぞら銀行、日本水産(株)、(株)アシックス、アシックスジャパン(株)、
(株)ゴールドウイン、ミズノ(株)、ヨネックスジャパン(株)、エームサービス(株)、日本オフィス・システム(株)、(有)濵田商事、中外製薬労働組合、(株)服部不動産、ステート・ストリート・ジャパンCSP委員会、
日赤兵庫県支部声の図書奉仕団はあもにいグループ、プルデンシャル生命保険(株)　首都圏中央支社、ソリマチ(株)有志一同、(特活)横浜スポーツアンドカルチャークラブ、ヨシダ印刷(株)、
(株)スペクター・コミュニケーションズ、グリーンコープ生活協同組合ふくおか、有馬ロイヤルゴルフクラブ、読売新聞西部本社、東京海上日動海上業務部、アンカー・シップ・インベストメント(株)、小野薬品労働組合、
フィギュアスケーターの集い、ラッセル・インベストメント(株)、(株)プロスティ、東京海上日動火災保険(株)資産運用部、東京木場製材協同組合、三菱UFJインフォメーションテクノロジー(株)

■SOメイト

損保ジャパン日本興亜企業保険金サポート(株)、損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー(株)、(株)ワークスアプリケーションズ、(株)ビルド、マグナス(株)、三井嬉子、廣澤彰、(株)双龍工務店、(株)オーゼン、
(株)オオバ工務店、富士ゼロックス福島(株)、福島トヨペット(株)、(医)安積保養園、(有)アサカサービスセンター、(医)安積保養園あさかホスピタル、小川工業(株)、(有)ワクワーク、神奈川県ボウリング場協会、
富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス端数倶楽部、(株)トーエル、大安興業(株)、横浜ゴム(株)、日本発条(株)、(株)ア・ファクトリー、横浜北ロータリークラブ、鶴岡八幡宮、セイコーエプソン(株)、富士ゼロックス長野(株)、
(株)ティアマリア、JA長野県グループ、長野大学後援会、ホクト(株)、丸美屋食品工業(株)、(株)サーキットデザイン、国際ソロプチミスト長野ーみすず、信濃毎日新聞社、(一社)新潟県産業廃棄物協会、リンタツ(株)、
(株)加藤自動車相談所、斉藤弘子、ヒューマンボランティア協会、関口彰久・関口真弓、徳島南ロータリークラブ、サンシャイン徳島アネックス、徳島ライオンズクラブ、(株)ノヴィル、徳島藍ライオンズクラブ、
徳島県勤労者福祉ネットワーク、徳島県共同募金会、SO尼崎プログラムを支える会、伊丹猪名野ライオンズクラブ、神戸須磨ロータリークラブ、わくわくイキイキフェスティバル実行委員会、甲子園ロータリークラブ、関西日米婦人協会、
JAWKインターナショナル、神戸社会福祉協議会、千原由利子、樋口幸子、喜多敬、国際ソロプチミスト京都、関西紙料(株)、京都ロータリークラブ、京都メイプルワイズメンズクラブ、京都ライオンズクラブ、(医)啓信会、
(一社)茶道裏千家淡交会、茶道裏千家淡交会京都四青年部連合会、安田政浩、浮田礼子、大同生命保険(株)、日本ランドメタル(株)、鳥取信用金庫、(特活)勇気の翼 インクルージョン 2015、倉吉東ロータリークラブ、
鳥取信用金庫、山岸ルツ子ピアノリサイタル実行委員会、トーヤク(株)、富士ゼロックス栃木(株)、明治大学校友会　栃木県支部、花王ハートポケット倶楽部、花王(株)、あずき整骨院、毎日興業(株)、(株)関東パイプ技研

■協力

(株)フォート・キシモト、(株)RIGHTS.、(株)マック、日本バルーン協会、エールラン実行委員会、SONサポーター丸の内女子会、(株)イデアクレント(篠塚正典)、(株)ライゾマティクス、(株)ジャパン通信社、
(有)ブルーフィールド、(株)オズマピーアール、トライ・アングル企画、ルーデンス(田川正一)、(株)ディレクターズシステム、志萱晃一、宮尾純平、En女医会、中野裕弓、Morning☆Diamonds、
TOMOKO KOJIMA CHEERDANCE ACADEMY、(公財)日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、デルタ航空、クーバー・コーチング・ジャパン、富士ゼロックス東京(株)、セイコーエプソン(株)松本事業所、
(株)セールスフォース・ドットコム、第一貨物(株)、エフピコ物流(株)、(株)富士通東北システムズ、(有)サポートプランニング、(株)ステディ スタディ、Chloé青山店、(株)エスイーエス、(株)ワンウェイ、
SCSK社会貢献活動クラブ Earth One、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)城山、ゼビオ(株)、あさかホスピタルグループ、(株)ティーズフューチャー、(株)スポーツワン、日清ファルマ(株)、(株)知足堂、
(株)インパクトトレーディング、(株)明治、Chloé、(株)リッシ、ソフトバンクグループ、gooddo(株)、笑顔道接骨院グループ、LEGEND STAR Co.Ltd.、山下泰裕、王貞治、原辰徳、北澤豪、中田英寿、森島寛晃、松浦亜弥、
森理世、萩原美樹子、堀尾正明、小林研一郎、為末大、井上康生、国枝慎吾、宇津木妙子、小谷実可子、杉山愛、荒川静香、SHIHO、有働由美子、上野由岐子、柴田亜衣、水鳥寿思、森田智己、久保田智子、西田敏行、
名取裕子、和合亮一、アポロ・アントン・オーノ、吉永小百合、町亞聖、羽隅将一、唐橋ユミ、小島智子、金哲彦、荻原次晴、山本ゆうじ、エリック・ワイナイナ、山田玲奈、三宅宏実、三宅義行、藤井彩子、中本健太郎、秋山浩志、
浦田典明、奥田智子、富田薫、生田裕佳、松本眞理子、君原健二、小鴨由水、佐藤真海、MISIA、安藤美姫、今井遥、小野沢裕子、おおご菜夕

■個人寄付

村上雅則、細川佳代子、三井嬉子、川上優子、小林廣久、岩崎眞揺、高石好志、加藤武文、萱間隆夫、小林益久、山口計子、横川浩、水町真理子、杉本憲一郎、木太久茂、斎間誠司、藤本京子、藤本純子、近衛甯子、
山川哲司、SON主催第1回エールランご参加の皆様、SON主催エールトーク　クリスタルナイトご参加の皆様、SON主催第2回エールランご参加の皆様、SON主催中野裕弓さんチャリティトークショーご参加の皆様、
SON主催第3回エールランご参加の皆様、SON主催参加費が寄付になる2014年スペシャルオリンピックス日本チャリティトークショーご参加の皆様、
SON主催第4回エールランご参加の皆様、SON主催2015年スペシャルオリンピックス日本チャリティトークショーご参加の皆様、SON主催第5回エールランご参加の皆様

2013年1月1日～2015年10月30日現在　順不同　敬称略

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム

新 潟

大会名称…… 2016年第6回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・新潟
日 程 …… 2016年2月12日～14日
開催地…… 新潟県（新潟市、南魚沼市）
参加者数…… 全国から10,230名（予定）
アスリート 650名　役員・コーチ 330名
大会役員・審判 250名　ボランティア 3,000名
観客 6,000名
実施競技…… 7競技
大会サイト …… http://www.song2016niigata.com/

2017年スペシャルオリンピックス 冬季世界大会

オーストリア

大会名称…… 2017年スペシャルオリンピックス
冬季世界大会・オーストリア
日 程 …… 2017年3月14日～3月25日
開催地…… オーストリア共和国
参加者数…… 110ヶ国・地域より 15,100名（予定）
アスリート 3,000名　コーチ 1,100名
ボランティア 3,000名　ファミリー 5,000名
会議参加者 800名　メディア代表者 1,000名　ゲスト 1,200名
実施競技…… 8競技 1デモンストレーション
大会サイト …… http://www.austria2017.org/en/

47地区組織活動状況

地区組織名	設立〈承認〉日	アスリート数	夏季競技実施数	冬季競技実施数
SON・北海道	1998/5/16	84	6	5
SON・青森	2004/11/20	105	3	1
SON・秋田	2014/10/24	93	5	-
SON・山形	2006/7/7	263	5	5
SON・岩手	2006/5/11	62	5	1
SON・宮城	1995/11/18	147	10	4
SON・福島	2010/2/5	88	6	3
SON・栃木	2006/3/18	224	4	1
SON・群馬	2013/3/10	67	3	2
SON・茨城	2006/2/16	66	2	-
SON・埼玉	2003/2/9	276	6	2
SON・千葉	2001/12/2	354	7	2
SON・東京	1994/10/22	793	10	4
SON・神奈川	1995/4/9	362	9	4
SON・山梨	2006/4/9	110	2	3
SON・静岡	2007/10/14	90	3	-
SON・長野	1998/11/23	181	7	6
SON・新潟	2004/4/4	395	8	5
SON・富山	2005/11/5	115	7	3
SON・石川	1996/7/7	86	7	5
SON・福井	2006/5/11	40	3	-
SON・岐阜	2013/3/22	47	4	-
SON・愛知	2000/10/29	221	9	5
SON・三重	2004/10/2	98	4	2
SON・京都	1996/11/17	214	6	2
SON・大阪	1995/3/11	322	8	5
SON・兵庫	2001/6/30	420	9	5
SON・奈良	2007/2/24	95	3	2
SON・和歌山	2010/3/20	41	2	3
SON・滋賀	2014/10/12	217	4	1
SON・岡山	2005/1/18	206	7	1
SON・広島	1998/6/1	171	8	-
SON・鳥取	2014/4/10	89	4	-
SON・島根	2014/4/4	41	3	-
SON・山口	1999/11/21	138	9	3
SON・徳島	1997/6/22	76	7	-
SON・愛媛	2002/2/17	161	5	2
SON・高知	2006/7/15	102	4	1
SON・香川	2008/11/13	50	5	-
SON・福岡	1996/5/19	219	10	6
SON・佐賀	1995/4/8	26	6	1
SON・長崎	2002/3/22	167	7	-
SON・熊本	1993/3/13	327	14	3
SON・大分	1995/12/3	63	6	2
SON・宮崎	2003/12/21	109	6	1
SON・鹿児島	1998/7/11	117	5	3
SON・沖縄	2008/7/15	52	4	-

アスリート数:2014年末時点

スペシャルオリンピックスの使命

Special Olympics Nippon

スペシャルオリンピックスの使命は、知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングと競技会を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供することです。

スペシャルオリンピックス日本のビジョン

スペシャルオリンピックスは質の高いスポーツトレーニングと競技会を通じて、知的障害のある人たちと触れ合うすべての人々が感動を共有し、各地区に根付いた全国的な運動となることを目指します。

スペシャルオリンピックス日本 検 索

「かざして募金」でスペシャルオリンピックス日本を応援!

かざして募金

スマホをかざすだけで
スペシャルオリンピックス日本に募金ができます!

かざして募金の方法

1. 「かざして募金」アプリをダウンロード
2. 「かざして募金」アプリを起動して「スペシャルオリンピックス日本」のロゴを撮影
3. 寄付金額を選択
4. 完了

＊ソフトバンク以外の方は、クレジットカードでのお支払いとなります。
＊法人契約等、ご契約内容によってはご利用できない場合があります。

詳しくは「かざして募金」を検索
アプリのダウンロードはこちらから

スマートフォンをご使用の方

iPhoneをご使用の方

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本　ニュースレター『Rainbow』vol.29　企画:SO日本事務局　デザイン:若田友康（WKT）　編集:トライ・アングル企画　撮影:（株）フォート・キシモト　印刷:（株）文栄社